

郷土の先人 Ver. 4

こころ  
**かごしまの心**  
~**きょうせんじん** 今日, どの先人?~

小学校  
1・2年



「あなたの おし は だれですか?」



鹿児島県教育委員会

# もくじ

「**主題名**」  
しゅだいめい

「**教材名**」  
きょうざいめい

「**登場する人物**」  
とうじよう じんぶつ

— 「かんしゃの 気もち」  
き  
— 「わたしたちの 家ぞく」  
か  
…… —

【上白石 萌音・上白石 萌歌】  
かみしらいし もね  
かみしらいし もか

2 「ちがつていても なかよく」 — 「ママが 教えてくれたこと」  
ま  
…… 4

【AI】  
あい

3 「みんなの ために」  
— 「利右衛門さんの からいも」  
りえもん  
…… 7

【前田 利右衛門】  
まえだ りえもん

4 「あい手の 気もちを 考えて」 — 「たすけられた サイゴうさん」 かんが  
て 10

【西郷 隆盛・土持 政照】 さいごう  
たかもり  
つちもち  
まさてる

5 「くじけない 心で」 — 「くるしさを のりこえて」 … 13

【鶴田 義行】 つるた  
よしゆき

6 「ふるさとを 思う 気もち」 — 「人を 思い ふるさとを 思う」… 16

【八島 太郎】 やしま  
たろう

じどうの みなさんへ

この本は、かごしまと かかわりのある 人たちの お話が のっています。どのお話も その人が  
かごしまで すごしながら 思つたことや 考えたことが 書かれています。このお話から  
などを 自分の 生かつに 生かして みましよう。

※ ジュギょう いがいでも 読んでみたい 人の 話が あつたら 読んでみましよう。

※ この本の ほかにも かごしまと かかわりのある 人たちの お話をのせた本に 「郷土の先人」・  
「続・郷土の先人」「不屈の心」・「ふるさとの心」があります。学校においてあつたり、  
鹿児島県教育委員会の ホームページに のつてたりするので 読んでみましよう。

かんしゃの 気もち

# わたしたちの 家ぞく

かごしまで 生まれそだち、今では 東京を 中心に 外国でも  
活やくして いて、はいゆうや 歌手の しごとを している 二人が  
います。その二人の 名前は、あねの 上白石萌音さんと いもうとの  
上白石萌歌さんです。

萌音さんと 萌歌さんは、お父さんや お母さんから  
「人に 会つたときは、この人に ありがとうって 言えることは  
なかつたかなと 思いかえして 考えなさい。」

「考  
え  
な  
い  
で  
」

などと よく 言われて いました。だから、二人は

「お父さんや お母さんのこと きびしい。」と 思つて いました。

二人は 大きくなり、萌音さんは 大学じゅけんの べんきょうが



うまくいかず 気もちが おちこんでいた 時が ありました。その時

お父さんと お母さんから

「一生けんめい やつた けつか たどりついた

場しょが 一ばん いい場しょだよ。」

と 言われました。お父さんと お母さんの この ことばを

きつかけに 萌音さんは「うまく いかなつたこと、つらくて  
しようがなかつた ことは なによりの エネルギーになり、しつぱいも  
たからものになる。」と 考えることが できるように なりました。

萌歌さんも、十八才の時 はいゆうの しごとを して いて 自分の  
力が 足りないと おちこんでいた ことが ありました。その時

お父さんと お母さんから、

「どの おしごとも 大へんだから 自分だけが 大へんだと 思わない  
ほうがいいよ。はたらくことは つらい思いを することも あるから



自分で えらんだ道に せきにんを もつて やりなさい。」

と 言われました。お父さんと お母さんの ことばを きつかけに  
萌歌さんは、「自分を ささえてくれる 人たちも くるしいことが  
あるから、自分も がんばろう」と 考えることが できるよう  
なりました。

萌音さんと 萌歌さんは、きびしく しかつてくれたり、たくさん  
ことを 教えてくれたりした お父さんや お母さんの ことばを 今も  
大切に しています。そのことばは、二人が きんちょうしたり  
ふあんになつたりした 時に ゆう気を  
くれるものに なっています。二人は、お父さんや  
お母さんのかあさんのことを 思うと、「ありがとう。」  
という 気持ちで 心が いっぱいになります。



## 2

ちがつても なかよく

ママが

教えてくれたこと



AIさんが書いた  
「ハピネス」のかし

このかしを書いたAIさんは、中学生まで  
かごしまけんですごしました。

お母さんはアメリカでしゅつしんで、  
AIさんもアメリカですごしたことが

ありました。

このお話は、AIさんが子どものときの  
お話です。

アンティー。これは、日本語で「おば」といういみです。  
わたしには、たくさんのアンティーがいます。はだの色が  
ちがうアンティー。生まれた国がちがうアンティー。  
出会つてすこししかたつていなアンティー。でもみんな

※ おば・お父さんやお母さんのかいあいにあたるしんせき

ママの 友だちで、家ぞくのよう に なかよしです。わたしが  
生まれた 時から、ママが みんなの ことを アンティイー  
と よんでいたので、しぜんに そう よんでいます。

ママは、いつでも だれにでも 話しかけたり、ハグをしたり  
します。ある日、車いすを つかっている人に 出会いました。

わたしは、どうしてよいか わからず に もじもじ していました。  
すると、ママは その人に すぐに かけより、声をかけ、

ハグを しました。わたしは、「ええつ。なにしているの。そんな  
ことを したら だめだよ。」と、思いました。そして、ママは、

「へい！ 友だちよ。」

と わたしに 言いました。そのことばを 聞いて、

わたしは、たくさん アンティイーたちを

※ ハグ：・あいさつの かわりに あい手を だきしめるこ



思い出しました。

「そうだ。みんな友だち そして 家ぞく だったな。」自分とはちがうから なかよくなれない かかわることは できないと思つてしまつて いました。

そうではなくて 自分とはちがうからこそ、あい手を知りたくなるし おたがいの すてきな ところに 気づくことが できること。そして、ちがつていてもちがいをみとめ合い ささえ合う ことが 大切だ ということを ママが 教えてくれました。

わたしは、ママのハグを もういちど 見て みました。これまでよりも、もつと 心が あたたかく なりました。



みんなの ために

# 利右衛門さんの からいも

「たくさん 食べて おなかいっぱいに なりたい。」

むかし 作もつが そだちにくかつた

山川 (げんざいの 指宿市山川)

で 生活していた

前田 利右衛門さんたちは いつも おなかを すかせて いました。

ある時 琉球に 出かけた 利右衛門さんは、

どんな ところでも そだつという「からいも」に

出合いました。利右衛門さんは、からいものなえを

山川に もち帰り、毎日たっぷり 水をかけ、

かれないよう 大切に そだてました。

秋になり 土の中を ほると たくさんの

からいもが 出てきました。

※ からいも・さつまいも

※ 琉球・げんざいの沖縄県



【山川 (指宿市) があるところ】

「あつた。あつた。からいもが あつたぞ。」

大きな声で さけびました。そして さつそく 家ぞくで にて  
食べました。はじめて 食べる からいもは ほくほくして、  
くりのような あまい あじで みんな え顔で  
「うんまか。うんまか。おなかいっぽいだ。」

と、よろこんで 食べました。みんなの 顔を 見て

利右衛門さんも うれしく なりました。来年は もつと  
たくさんのからいものなえを 作つて 山川の 人たちにも  
分けてあげよう。そして おいしい からいもを 食べさせて  
あげようと 利右衛門さんは 思いました。だから しゅうかくした  
からいもは、ぜんぶは食べず なえを 作るために  
大切に とつておきました。

利右衛門さんは、いろいろ ためして、たくさんの  
なえを 作ることに せいこうしました。そして、できた



なえを きんじよの 人に くばり、そだてかたも  
ていねいに 教えて おし  
からいもは、みんなに まわ  
なえがほしいと ひとびとが 回りました。にても、やいても おいしい  
利右衛門さん たいへん よろこばれ、遠くからも  
ばたけが どんどん やつてきました。

おかげで、山川では、からいも  
いちめんに 広がつた からいもばたけを、利右衛門さんは  
うれしそうに 見つめて いました。



【げんざいも やまがわ はたけ ひろ ばたけ  
山川の畑に広がる からいも畑】



【利右衛門さんが まつられている 德光神社】



【利右衛門さんの 名前が か せき 書かれた石ひ (徳光神社)】



あい手の 気もちを 考えて

# たすけられた さいごうさん

みなさんは、西郷隆盛さんを 知っていますか。

これは、西郷さんが さつまの おとのさまを  
おこらせてしまい 沖永良部島に つれて  
行かれた時の お話です。

沖永良部島で 西郷さんが 入るろうやは

せまくて かべも ありませんでした。食じも  
とても そまつな ものでした。

西郷さんの おせわをしていた 土持政照さんは

「このままでは、西郷さんが びょう気に なつて  
しまう。」と 考え、ごちそうを つくらせて



【西郷隆盛さんが すごした ろうやの ようす (和泊町 西郷南洲記念館)】

だ  
出しました。しかし そのたびに 西郷さんは、  
「お気もちだけ ちようだい いたします。」

と 言つて、食べることは ありませんでした。このままで  
西郷さんは 死んでしまうと 思い、土持さんは いそいで  
だいかんに 会いに 行きました。

「おねがいが あります。とのさまからの めいれい書には  
西郷さんを かこいの中に 入れよと  
書いて あります。家の中に つくつた  
ざしきろうが かこいです。そこに  
西郷さんを うつしてください。」

すると だいかんは、

「ううむ。わかつた。家の中の ザしきろうに

※ だいかん・・・そこにすむ 人びとの 生活を よりよくする人  
※ ザしきろう・・・いえの中にある ろうや



西郷さんを うつしなさい。」

と 言いました。

「土持さんは 大よろこびで、西郷さんの ところへ  
つたえに 行きました。

「西郷さん、家の中の ざしきろうに、おうつりください。」

すると、西郷さんは、なみだを ながしながら、土持さんの  
話を きいて いました。そして、こう言いました。

「土持さん 本当に ありがとうございます。わたしは この  
ろうやの中で いつか 死ぬだろうと思つて おりました。」

二人は ろうやの中と 外から 手を かたく にぎりしめ  
ないて よろこび 合いました。

西郷さんに とつて、土持さんは いのちの おんじんであり  
かけがえのない そんざいに なりました。



くじけない  
心で

# くるしさを のりこえて

鹿児島市の伊敷というところに上の  
しゃしんのようなどうぞうがたつて  
います。そのとなりの石ひにはこんな  
ことばがのこされています。



【鶴田義行さんの どうぞうと 石ひ(鹿児島市)】

苦しい うちςダメ  
鍛錬不足の 証拠  
苦しさに 慣れ 平氣に なつて  
本当の 苦しさ 探究が 始まる

【いみ】

くるしいと思つてゐるうちςまだど力してゐるとは言えない。れんしゅうを  
かさねてくるしさになれて、さらに高い目ひょうへむかつていくことが大切です。

みなさん は この人 が だれか 知つて い ま す か。

この人 は、 鶴田 義行 さん。

一九二八年 の アムステルダム

オリンピック と 一九三二年 の ロサンゼルス オリンピック で

日本 で はじめて 二大会 れんぞく 金メダル を かくとく し た

水えいせん 手 です。 そんな 大きろく を もつ

鶴田 さん です が、

けつし て はじめ から およぎ が 上手 だつた

わけ で は あり ま せ ん。

家 の 前 を ながれる

甲突川。

鶴田 さん が 子ども の こ ろ は

きよ う だ い や な か ま と そ の 川 で よく あそ ん で い ま し た。

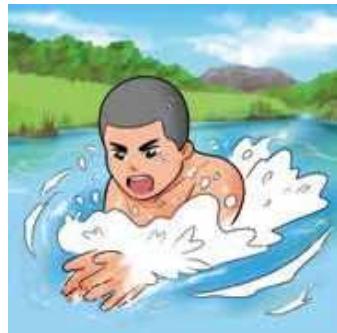
ある 夏 の あつい 日。 鶴田 さん は そ こ で

おぼれ そ う に なつて し ま い ま し た。 そ の こ ろ は

ま だ お よ ぐ こ と が で き な か つ た の で す。

ま け ず ぎ ら い の 鶴田 さん は そ れ か ら

お よ ぎ の れんし ゆ う を は じ め ま し た。



※ アムステルダム ・・ オランダ の し ゆ と ※ ロサンゼルス ・・ アメリカ の 大きな と 市

甲突川 ・・ 鹿児島市 を ながれる

川 わ

もちろんはじめはほとんど前にすすむことが

できません。

「くるしいなあ。でもくるしいのはれんしゅうがたりない  
しようこ。まだまだがんばるぞ。」

そうして何ども何どもおよぎつづけてだんだんと  
およぐことができるようになつてきました。それどころか  
なかまたちが川のながれにそつておよいでいる中、その  
ながれにさからつて一人上りゆうへ  
上りゆうへとおよいでいくすがたも  
み見られるようになりました。

この子どものころのくるしさをのりこえた

けいけんがオリエンピックの金メダルに

つながつていつたのです。

※ 上りゆう・川のながれの上の方



【オリンピックに出じょうした時の鶴田義行さん】

## 6

ふるさとを 思う 気もち  
ひと おも おも

人を 思い ふるさとを 思う おも

白い すなはまに うちよせる なみの  
海を わたる そよ風。

おじいさんに なつた 八島太郎さんは、遠く  
アメリカの 地で 大好きな ふるさとを  
思い出して いました。

八島さんが 生まれたのは げんざいの 南大隅町の  
根占です。八島さんは ゆたかな 自ぜんや 友だちと  
すごす 時間が 大好きでした。大人になつた  
八島さんは 画家となり 絵の べんきょうを  
したいと 思つて アメリカへ わたりました。



【根占(南大隅町)が あるところ】

ちょうど そのころ、日本と アメリカが せんそうをはじめました。せんそうは しだいに はげしくなり たくさんの人が なくなりました。八島さんが、ふるさとや 友だちを思わない 日は ありませんでした。八島さんは、「いのちをだいじに してほしい。生きてほしい。」「人と 人が いのちをうばいあう ことは ゼつたいに あつてはならない。」と 平和への 思いを 絵にかけて 日本へ とどけました。かなしみに つづまれた せんそうが やつと おわりました。八島さんの ふるさとの 根占も せんそうの ひがいを うけました。せんそうの ために 大切にしていた 自ぜんや 友だちも うしなつて しまいました。八島さんの 心も 大きなかなしみにつづまれました。

その後、八島さんは、ふるさとで すごした 日びを えがいた 絵や絵本を かきました。

友だちと わらいあつた 日び、心の ささえとなる  
 ひとの つながり、大切に してきた  
 思いや ねがい などを いくつもの 作ひんに  
 こめたのです。これからのみらいを 作ひんに  
 子どもたちのために。今を 大切に してほしいと。

八島さんは、ふるさとの 根占で

すごした 日びを えがいた  
 さく  
 作ひんを かいています。

『からす たろう』・『村の樹』・

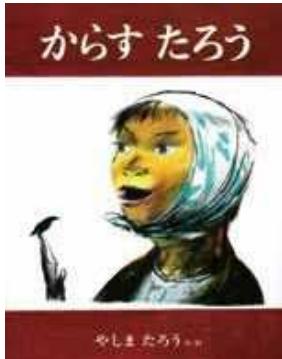
『道草いっぽい』・『海浜物語』

など、八島さんの 少年時だいの  
 思い出や ふるさとの 思いが

おも  
 で  
 つたわる さく  
 作ひんです。

ぜひ、 読んでみてください。

【八島太郎さんが えがいた作品  
 『からす たろう』】(偕成社)



【子どもたちにかこまれる画家・絵本作家  
 八島太郎さん (本名 岩松 淳さん)】  
 (株)創風社



かごしまけんりつはくぶつかんに ある きょうりゅうかせきです。  
 この かせきの後ろに ある おおええやしまさんのが えがきました。  
 子どもが 大すきだった八島さんが、鹿児島の 子どもたちに  
 見てほしいと 思いをこめて えがきました。  
 かせきとともに きょうりゅうたちが 生きていた はくりよくある  
 時だいが わかる とても きちょうな ものです。



【『海浜物語』の ぶ台である 吹上浜(日置市)】

## みなさんへの メッセージ



【AIさん】

今、わたしは お母さんが 言つていた  
 「みんな友だち」ということばが とてもすてきだと  
 思っています。「ちがうことが、いけないのかな。」  
 「みんな おなじ のではないのかな。」  
 「もともと、みんなを くべつしなくても  
 いいのでは ないかな。」 そう思つて います。  
 どこに すんでいても、どんな ことばを  
 話しても、みんなに 楽しく いてほしい、元気で  
 あつて ほしい。歌つて いる  
 こめています。そして、その 思いが せかい中の  
 みんなに とどく ことが わたしの ねがいです。

かごしまの  
 みなさんへ  
 ノビネス!!

W/リ M/\*



【上白石萌歌さん】

ひとの ごえんや ごおんを 大切に してください。小さいころに 見た  
 けしきや 体けん、友だちと けんかしたことなどは 自分を つくる  
 なります。いろいろな ことを 一ぱん キヤツチ できる じきだと  
 まい日、朝おきて 学校に 行く だけでも すばらしい ことです。  
 まい日 いろいろな ことを かんじながら すごしてください。

み  
 もとに  
 思うので、  
 おも



【上白石萌音さん】

あい手が どんな気もちで いるか、これを 言つたら どういう 気もちに  
 なるか そうぞう力を もつて 生活してください。  
 うれしいことや かなしいことは 大人に なつて 自分をたすけて くれます。  
 とくに かなしいことや つらいことを けいけんすると やさしく なれます。  
 心が うごくことは しあわせな ことです。心を うごかすことを 大じに  
 してください。

## 保護者の皆様へ

この本は、鹿児島県の子供たちのために作成した道徳の教材です。子供たちが、この本に登場する人物の考え方や生き方にふれ、自分の生き方について考えを深め、夢や希望をもって過ごしてもらえることを願って作成しました。ぜひ、この教材と一緒に読んでいただき、お子さんと思ったことや考えたことを話し合ってみてください。また、さらに知りたい、深めたい場合には下に記載している【参考・引用文献】も紹介してみてください。

### 【参考・引用文献】(順不同)

#### □前田 利右衛門

「かごしま文庫⑯ さつまいも—伝来と文化—」(春苑堂 1994 年)

「令和5年度企画展図録 指宿まるごと博物館 XIV 海が織りなす焼酎文化 ~芋・技・肴・器~」  
(指宿市考古博物館 時遊館 COCCO はしむれ)

「甘藷翁物語」(三州談義社 1966 年)

#### □西郷 隆盛・土持 政照

「西郷隆盛と沖永良部島」(和泊西郷南洲顕彰会 2011 年) 「郷土の先人(土持 政照)」(和泊町教育委員会)

「えらぶの西郷さん」(和泊西郷南洲顕彰会 1988 年)

#### □鶴田 義行

「(財)日本オリンピック委員会監修『近代オリンピック 100 年の歩み』」(ベースボール・マガジン社 1994 年)

「南日本新聞社編『郷土の人系 中巻』」(春苑堂 1969 年) 「知ってるつもり」(日本テレビ 1992 年)

「郷土教育 第6号」(鹿児島県総合教育センター指導資料 2021 年)

「文藝春秋 第 98 卷第 1 号」(文藝春秋 2020 年)

「オリンピックを通してつかんだ水泳の心」(鹿児島県総合教育センター読み物教材 2021 年)

「南日本新聞『かごしま 20 世紀山河こえて』」(南日本新聞社 1999 年)

「伊敷地域ガイドマップ」(伊敷地域まちづくりワークショップ 出版年不明)

「日本の金メダリスト事典 1 夏季オリンピック・冬季オリンピック編」(ベースボール・マガジン社 2018 年)

「失敗図鑑 偉人・いきもの・発明品の汗と涙の失敗を集めた図鑑」(いろは出版 2018 年)

#### □八島 太郎

「八島太郎 - 日米のはざまに生きた画家 -」(創風社 2008 年)

### 【協力】(敬称略、順不同)

東宝芸能(株)／株式会社 ザ・マイカホリックス／指宿市考古博物館 時遊館 COCCO はしむれ／

西郷南洲記念館／西郷南洲顕彰館／和泊町教育委員会／和泊町立和泊小学校／南大隅町教育委員会

真竹 由子／山田 みほ子／假屋園 昭彦／島津 公保／下豊留 佳奈／野間 友見／永里 智広／

山下 久美子／泉 宗弘／山口 親悟／長薗 誠／前畠 あさよ／塩満 貞徳／所崎 陽／池来須 隆子／

坂口 洋幸／安樂 朋陽／桜 千明／諸平 幸奈／西原 真琴／西村 優子／毛利 秀喜／富吉 祐輔

学習内容一覧			
	主題名	教材名	内容項目
1	かんしゃの 気もち	わたしたちの 家ぞく	B 感謝
2	ちがっていても なかよく	ママが 教えてくれたこと	C 公正, 公平, 社会正義
3	みんなの ために	利右衛門さんの からいも	C 勤労, 公共の精神
4	あい手の 気もちを 考えて	たすけられた さいごうさん	B 親切, 思いや
5	くじけない 心で	くるしさを のりこえて	A 希望と勇気, 努力と強い意志
6	ふるさとを 思う 気もち	人を 思い ふるさとを 思う	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度

「道徳教材～小学校1・2年生用～」  
令和7年2月発行  
編集・発行 鹿児島県教育委員会  
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号

この本の副タイトルについて

副タイトルを「今日、どの先人？（きょう、どのせんじん？）」としました。

その理由は、以前、私たちが作成した「郷土の先人（きょうどのせんじん）」の続編（4作目）であるからです。

また、これまでの教材を含めて「今日は誰の話を読もうかな」と前向きに思ってほしいという願いも込めています。